



コノコノかわらばん

今回の「コノコノかわらばん」は、設立から一年を経過した特定非営利活動法人Switch（スイッチ）について紹介をしたいと思います。今回は、相談者と共に事業の説明などを聞いてきました。一体どんな取り組みをされているのでしょうか？

障害福祉サービス事業所 スイッチ・センダイを訪問しました

今回は、コノコノの相談者Sさんと共に仙台駅東口を出てすぐに事業所がある「スイッチ・センダイ」を訪問しました。精神疾患を患っている方、心につまずきのある方を対象に就労移行支援、自立訓練（生活訓練）の障害福祉サービス事業所「スイッチ・センダイ」として平成23年に開設されました。

どのような特色があるのか利用を検討されているSさんと一緒に話を聞くことが出来ました。

基本方針としては、本人の思いを中心とした個別支援で、本人のストレングスに焦点を当てています。自信を感じることの出来る機会、空間づくりを心掛けているそうです。



(写真) 東口鳳月ビル 6階にあります

取り組んでいるプログラムについてもそれぞれ説明をして頂きました。

スイッチでは工賃作業がなく、「就職活動と就労継続するために必要な力をつけるプログラム」で構成されています。週に2~3回グループプログラムがあり、それ以外の時間は、個別の就職活動に向けての時間になります。すぐに履歴書を書く人から、通うことから始める人



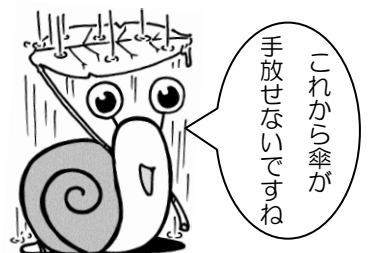
(写真) Switch 小野彩香 所長との相談の様子

それぞれです。就職活動については、個別に行っており、外出して適職探しや、企業実習や見学など積極的に行っています。オープンでの応募に対してはジョブコーチも入り、企業との調整や訪問による支援もしています。グループプログラムは、コミュニケーション力や自己コントロール力に役立つ内容となっています。自分を客観的に把握して、元気の道具箱を活用していく「WRAP」(元気回復行動プラン)や、「認知行動療法」で、自分の考え方の癖を把握し、物事の捉え方を広げていく取り組みを行っています。

スイッチを利用される方は、各々の適した頻度で通所しているそうです。



(写真) 入り口のドアを開けると利用者さんが、手作りした素敵な人形たちが迎えてくれます。



仙南地域からの利用者も現在増えてきているそうです。